

一般会計

町の行政運営に必要な経費を中心に計上するものです。

町の一般会計予算額は、当初予算額23億887万8千円に9月までに補正予算2億8,246万8千円を加え、25億9,134万6千円となっています。

歳入 予算額 25億9,134万6千円 収入済額 17億6,897万1千円

歳入科目		予算額	収入済額	収入率
自主財源	町税	1億6,594万9千円	1億772万8千円	64.9%
	分担金及び負担金	7,213万1千円	1,507万3千円	20.9%
	使用料及び手数料	3,697万9千円	1,568万9千円	42.4%
	繰越金※1	5,205万0千円	3億5,374万0千円	679.6%
	その他	3,572万5千円	2,047万7千円	57.3%
	合計	3億6,283万4千円	5億1,270万7千円	141.3%
依存財源	地方交付税	15億4,836万2千円	10億9,201万4千円	70.5%
	国・道支出金	4億4,518万9千円	1億3,518万4千円	30.4%
	町債	1億6,759万2千円	0千円	0.0%
	その他	6,736万9千円	2,906万6千円	43.1%
	合計	22億2,851万2千円	12億5,626万4千円	56.4%
合計		25億9,134万6千円	17億6,897万1千円	68.3%

※1 繰越金については、予算額5,205万円に対して、収入済額には20年度からの繰越金3億5,374万円を含むため収入増となっています。

歳出 予算額 25億9,134万6千円 支出済額 11億749万7千円

歳出科目		予算額	支出済額	執行率
議会費	費	5,144万1千円	2,349万4千円	45.7%
総務費	費	10億7,674万9千円	5億2,452万7千円	48.7%
民生費	費	3億1,368万1千円	1億3,470万1千円	42.9%
衛生費	費	9,298万0千円	3,603万4千円	38.8%
労働費	費	1,098万6千円	510万7千円	46.5%
農林水産業費	費	2億2,439万4千円	4,116万6千円	18.3%
商工費	費	4,830万4千円	2,333万9千円	48.3%
土木費	費	1億1,103万9千円	1,517万7千円	13.7%
消防費	費	1億6,267万6千円	7,377万6千円	45.4%
教育費	費	1億6,263万6千円	5,616万4千円	34.5%
災害復旧費	費	11万5千円	5千円	4.3%
公債費	費	3億3,554万5千円	1億7,400万7千円	51.9%
諸支出金	金	40万0千円	0千円	0.0%
予備費	費	40万0千円	0千円	0.0%
合計		25億9,134万6千円	11億749万7千円	42.7%

特別会計

特定の事業を行う場合など条例に基づいて設置するもので、一般会計の歳入・歳出と区別して経理するための会計です。

町には7つの特別会計があります。

7会計合わせた予算額は、当初予算額10億2,012万円に9月までに補正予算4億4,479万2千円を加え、14億6,491万2千円となっています。

会 計 名		予 算 額	収 入 済 額	収入率	支 出 済 額	執行率
国 民 健 康 保 険 事 業	事業勘定※2	2億2,966万7千円	1億1,117万6千円	48.4%	9,635万7千円	42.0%
	直診勘定※2	6億2,364万3千円	1億5,194万6千円	24.4%	4億5,221万3千円	72.5%
簡 易 水 道 事 業		2億4,487万3千円	7,890万2千円	32.2%	7,282万6千円	29.7%
老 人 保 健		300万0千円	322万4千円	107.5%	48万6千円	16.2%
下 水 道 事 業		8,541万7千円	3,878万9千円	45.4%	3,787万1千円	44.3%
介 護 福 祉 サ ー ビ ス 事 業		3,946万4千円	1,739万4千円	44.1%	1,267万8千円	32.1%
産 業 交 流 雇 用 対 策 推 進 事 業		1億9,930万0千円	1億1,727万3千円	58.8%	8,745万4千円	43.9%
後 期 高 齢 者 医 療		3,954万8千円	1,201万1千円	30.4%	332万5千円	8.4%
合 計		14億6,491万2千円	5億3,071万5千円	36.2%	7億6,321万0千円	52.1%

※2 国民健康保険特別会計の予算には、前年度繰上充用金（累積赤字補てん分）事業勘定27,730千円、直診勘定409,112千円を含みます。

平成21年度上半期

町予算の執行状況を公表

平成21年9月30日現在

平成21年度上半期（4月1日から9月30日）の町予算の執行状況をお知らせします。皆さんが納めた税金や、国や道からの交付金など、お金がどのように出入りしているかなどについて町の財政状況を正しく理解してもらうために公表するものです。

創部50周年

森を守り緑に親しむ功労者

北海道社会貢献賞を受賞

東しゃこたん漁協 美国地区女性部

東しゃこたん漁業協同組合 美国地区女性部（佐藤恵子部長・会員14名）の永年の植樹運動が評価され、12月17日KKRホテル札幌で行なわれた表彰式で高原道副知事から北海道社会貢献賞（森を守り緑に親しむ功労者）が贈られました。

同女性部は、部員数が減少する難しさを乗り越えながら、25年以上前から毎年「海を育てる植樹活動」を続けてきました。

美国小泊地すべり跡地を中心に、毎年50本から200本のイタヤカエデやエゾヤマザクラ等



の植樹を行い、最近では美国地区青年部も協力し、石が多い場所ので穴を掘るなど心強い味方も応援しています。

表彰式に出席した佐藤部長は、「漁協婦人部が昭和24年に発足して今年で50年。その節目の年にこのような賞を受賞できたことは、本当にうれしい。継続して実施することが大事。今後もう少しずつでも続けていきたい。」と、これからの海づくり・山づくりの意欲を語っていました。ますますのご活躍を期待いたします。

統計グラフコンクール

特選 三上 琴加さん（日司小1） 美国・入舸・日司小の12作品が入賞
吉田 拓海くん（日司小5）

入舸小・日司小に学校賞

北海道統計協会が主催し、毎年開催されている「統計グラフコンクール」で美国、入舸、日司小学校の児童11作品と一般から1作品の合計12作品が入賞、また、日司小学校と入舸小学校がそれぞれ学校賞を受賞し12月21日に各小学校で表彰状の伝達式が行われました。

表彰伝達式では、川井順應町統計調査員協議会会長から表彰状と記念品がそれぞれ手渡されました。

昭和28年から実施され、統計についての理解と表現技術の向上に役立てることを目的に今年

▼第1部（小学1・2年生）

特選

三上 琴加さん（日司小1年）

入選

佐藤 優花さん（日司小2年）

佳作

笠井 羽蘭さん（入舸小1年）

柏崎 未羽さん（日司小2年）



▲美国小学校



▲入舸小学校

▼第2部（小学3・4年生）

入選

西川 亜紗加さん（美国小4年）

佳作

杉野 弘幸くん（日司小3年）

杉野 耀一くん（日司小4年）

小原 ぼのかさん（入舸小4年）

▼第3部（小学5・6年生）

特選

吉田 拓海くん（日司小5年）

入選

竹谷 湧志くん（入舸小6年）

佳作

大坂 朱音さん（日司小5年）

杉野 隼哉くん（日司小5年）

小原 百花さん（入舸小6年）

▼第5部（一般）

佳作

西川 里佳さん（美国町）



▲日司小学校

第21回

積丹観光 フォトコンテスト

グランプリ

嵯峨秋雄さん
「陽光」



積丹観光フォトコンテスト(積丹観光協会主催、全日本写真連盟積丹支部主管、積丹町など後援)の審査が行われ、319点の応募作品の中から、グランプリの積丹観光協会長賞に小樽市の嵯峨秋雄さんの「陽光」が選ばれました。その他の入賞者は次のとおりです。

■準グランプリ

「浄める」

貝沼 正雄さん(小樽市)

「花咲く浜辺」

長谷川隆春さん(八雲町)

「碧い海」

榎 英子さん(札幌市)

■優秀賞

「岬にて」

川村 明雄さん(福島町)

「立ち木」

紅露 雅之さん(小樽市)

「海の宝石」

神前 和人さん(小樽市)

「火渡り」

高橋 省三さん(小樽市)

「帰港」

柴田 紀子さん(小樽市)

「静かな漁」

佐藤 有芳さん(函館市)

「微躁舵(アワビ漁)」

加藤 政則さん(江別市)

「漁火輝く岬」

福田 拓さん(江別市)

「晩秋の漁港」

山下破魔子さん(札幌市)

「波紋」

嵯峨 秋雄さん(小樽市)

「あなたの思い出に残る積丹の風景部門」

■グランプリ

「光る航跡」

杉山 敏之さん(札幌市)



※入賞作品については、積丹観光協会HPでも公開しています。

冬の積丹の魅力をPR

どっい積丹 [冬の陣]

今年で8回目となる「どっい積丹」鍋の競演(佐藤勝次実行委員長)が12月5日に岬の湯しやこたんで行われました。

今年は、直径80cmの大鍋に「積丹本家のごっこ汁」や「どっこい積丹鍋」など冬の積丹の味覚をたくさん使った7種類、合計1,400食分

を用意。岬の湯しやこたんの入浴者を対象に1杯100円以上のチャリティで提供されました。開始時刻の11時に合わせて一般入浴客や観光バスツアーの到着により入浴前の来場者約450人が一斉に鍋の前にどんぶり



を手に長蛇の列をつくりました。おかわりを求める参加者に、あつさりした塩味の「昔風三平汁」や味噌やバターを隠し味にしたカレー風味の「究極の鰯鍋」

など早いものでは開始から30分程度で無くなるものもあり、昨年より増量しての対応でしたが、わずか3時間ほどで完売となる盛況ぶりでした。

また、この他に11月3日から12月6日までの期間中は町内各民宿・旅館や飲食店では宿泊者にオリジナル鍋を提供し、イベントを盛り上げました。

鍋の売上金119,370円は、歳末たすけあい運動義援金として12月18日、佐藤実行委員長から、北海道共同募金会積丹分会の福井貞吉会長へ手渡され、同分会を通じて交通遺児や独居老人世帯などのために使われることになっています。

健康と環境志向の 滞在型観光を促進

ロハスinしりべし

健康志向の高い団塊の世代の熟年層観光客を中心としたロハス(健康と環境を志向するライフスタイル)をテーマに滞在型観光を促進するためのモニターツアーがどっこい積丹冬の陣にあわせて実施されました。



これは、後志支庁及び管内市町村から構成される「ロハスinしりべし推進協議会」が企画したもので、将来的には「健康」と「癒し」の観光地イメージの定着を図ることにより、積丹町を含む後志管内をルートとした広域観光ツアーの商品化を目指すものです。

当日は、札幌市及びニセコ町から参加した夫婦2組が岬の湯での入浴後、鍋の競演で積丹の味覚に舌鼓をうち、場所を文化センターに移し、生産活動センター福井寛さんの指導を受けながら、ガラスの浮き玉づくりを体験しました。「難しい!」と言いつつも普段はできない漁師体験を楽しんでいました。